



## 1 北九州を代表する三つの祭りについて調べよう。

北九州を代表する三つの祭り	こくらぎおんたいこ 小倉祇園太鼓	とばたぎおんおやまがさ 戸畑祇園大山笠	くろさきぎおんぎょうじ 黒崎祇園行事
祭りが行われている場所	小倉北区	戸畑区	八幡西区(黒崎)
やまがさだし 山笠や山車の名前	小倉祇園の山車	戸畑祇園幟山笠	黒崎祇園笹山笠
祭りの特ちょう	江戸時代には、山鉦・踊り舞台・踊り子などを従えていたが、それらはなくなった。 現在は、太鼓とジャンガラでにぎやかさと勇壮さをかもし出している。	昼は豪華な刺繍をした幕で飾った幟山笠だが、夜は309個の提灯を飾った提灯山笠になる。 提灯山笠としては、日本最大規模である。	笹山笠でお汐井とり(海水で山の土台や棒を洗って清めること)をした後、きらびやかな人形山笠に衣替えする。 祇園囃子は、大太鼓、小太鼓、鉦、ほら貝でする。
祭りのいわれや人々の願い	1618年、流行った伝染病が早く治るように祈ったことから、始まった。	1803年、この地方に流行った病気がやっと収まったことを祝って、始められた。	970年頃始まった。 日常生活の中で出遭う災難や自然災害が起こらないでほしいと願ってはじめられた。 お汐井とりをして、安全に祭りが行われるようお願いをしてみつりを始める。

## 2 どんな願いをもってたくさんの人が祭りに参加しているのか考えよう。

- ・元気で暮らしたい。
- ・災難や自然災害が起こらないでほしい。
- ・まつりでまちを盛りあげたい。